

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	意見・改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	8	3	1	一人当たり約4㎡	・いいえと回答したスタッフの意見 コロナの感染予防を考えるととても難しい。 ・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 車いすがあると1人当たりのスペースが狭い。 特に1階はもう少しスペースが欲しい。 曜日・天気により仕方がない事だが子ども達も体が大きくなってきているので手狭になってきたと感じる。 日による
	②	職員の配置数は適切であるか	9	3	3	1		・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 スタッフ間での協力の必要がある その時々 ・いいえと回答したスタッフの意見 スタッフが増えるといいな 現状は足りないと思う
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	3	0	1		・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 1階～2階の階段が心配
業務改善	④	業務(活動・行事・施設運営・事務・環境整備など)の改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12	1	0	3		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16	0	0	0	毎年9月の保護者会で実施→役員会・理事会などで議論→保護者会で公表→ホームページで公表	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	0	0	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	16	0	0	0	2021年に実施	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	2	0	0		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	0	1	0	放課後等デイサービス計画→こぴあでケース記録、個別支援計画と言われているもの	・いいえと回答したスタッフの意見 ケース担当が負担なので職員に担当してほしい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	16	0	0	0	適応行動とは、年齢相応の周囲の期待の範囲内の行動(社会的な活動への参加、コミュニケーション、運動など)こぴあアセスメントシート	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	1	1	活動プログラムとは日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動の事。子どもの障害特性や平日/休日/長期休暇の別途に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。	・いいえと回答したスタッフの意見 スタッフ全員が集まれる機会が減り、その日その日になってしまうことも。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15	1	0	0		・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 あえて固定化したものを繰り返し行っていることもある
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、内容や取り組みをきめ細やかに設定して支援しているか	15	1	0	0		・はいと回答したスタッフの意見 毎日とは言えないが1日保育でしかできないことなどを行っている
適切な支援の提供		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	意見・改善目標、工夫している点など
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて活動プログラムや放課後等デイサービス計画を作成しているか	16	0	0	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	2	0	0		・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 14時～勤務の時などは打合せ後に出勤ということもあり”必ず”ではないが重要なことは確認できていると思う。
	⑯	行った支援の振り返りを行い、気付いた点や子どもに関する必要な引き継ぎ等をスタッフ間で共有しているか	14	2	0	0	週ミーティングだけでなく、車移動の時間を活用	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	3	0	1		・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 記録が遅れてしまうこともある。 ・わからないと回答したスタッフの意見 記録をもとに支援の検証を行うことはあまりないと思う。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	16	0	0	0	子ども一人当たり、年2回ケース会議(個別支援会議)を実施	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	14	0	0	2	①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供	
関係機関や保	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	0	0	0	2017年度より計画相談の面談に担当職員が同席。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15	1	0	0	各学校から年間予定(保護者を通じてもあるが)を入手。学校(城東・墨東)が開催する放課後等デイサービス連絡会に出席。必要な時に個別支援会議。	

護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	15	0	1	0	医療的ケアが必要な際には医師からの指示書ももらっています。必要に応じて直接主治医ではなく、医療ソーシャルワーカーや保護者を介して連携を取っています。	
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	16	0	0	0	乳幼児親子教室やこども発達支援センターの相談支援員から児童や家庭の支援体制等の書類をもらい、必要に応じては訪問見学を行います。	
関係機関や保護者との連携		チェック項目	16	どちらともいえない	いいえ	わからない	説明	意見・改善目標、工夫している点など
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	16	0	0	0	相談支援を通して個別支援計画や引き継ぎ書等を提供しています。また、実際に成人施設に行き、直接引き継ぎ等を行っています。	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	5	2	0	コロナ禍で近年研修がありませんでしたが2月に研修が再開します。	・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 コロナ禍のため制限されてしまっている部分がある
	②⑥	地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有したりする機会があるか	5	6	5	0	コロナ禍で近年研修がありませんでしたが2月に研修が再開します。ライト学童さんとの交流が来ていません。	・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 コロナ禍のため制限されてしまっている部分がある ・いいえと回答したスタッフの意見 コロナ禍により
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	15	0	0	1	副理事長(北村)が児童部会のメンバーとして参加しています。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	1	0	0	連絡帳・お迎え時の引き継ぎ	・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 共通理解まで至っているかは分からないが、そうなるよう努力している。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、課題解決のための取り組み(学習会の企画や案内、サービスの紹介、緊急一時保護など)を行っているか。	12	1	0	3	総則には「保護者が子どもに向き合うゆとりと自信を回復することも、子どもの発達に好ましい影響を及ぼすものと考えられる」と書かれています。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	0	0	0	毎年新年度保護者会にて実施	・スタッフの意見 丁寧に行っているが、保護者会に参加できない方は遅れたり直接伝えられないことも。
	③⑪	保護者からの子育ての大変さや悩み等を聞いた際、傾聴や共感、意見交換を行う、各事業担当職員につなぐなど、適切なサポートにつなぐ取り組みを行っているか	14	0	0	2		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	1	0	1		・はいと回答したスタッフの意見 コロナ禍により施設交流が保護者も子ども達も減っている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	0	0	0	苦情窓口を重要事項説明書に記載。第三者窓口はCoCoと親子教室の相談支援員さんです。	
保護者への説明責任等		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	説明	意見・改善目標、工夫している点など
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16	0	0	0	こびあワールド	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	16	0	0	0	雇用契約書の署名欄	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	1	0	0		
	③⑰	事業所や障害理解の増進を図るため、地域住民に向けた行事を行う、ボランティアや実習生を広く受け入れる等、地域に開かれた事業運営を図っているか	14	2	0	0		・はいと回答したスタッフの意見 コロナ禍なので難しいが、地域の人たちとの交流が増えると良い。 ・どちらともいえないと回答したスタッフの意見 コロナ禍の為制限されてしまう部分はある。 実習生の受け入れは実感としてよくある。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	16	0	0	0	5月の研修で確認	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0	0	0		・スタッフの意見 訓練の頻度を増やせるとより安心できるかなと思う。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	0	0	0	4月の新年度ミーティングにて	
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	16	0	0	0	身体拘束委員会を設置	
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	0	0	1	現在はエビペンの使用指示が出ている児童は居ませんが、処置が必要な際には指示書ももらっています。	

第3こびあクラブ 総評・改善点

- ・感染対策と活動保障については、スタッフ間で悩みながら取り組んできたので、保護者からの声を聞くことができ嬉しかった。
- ・親子行事が少しずつ復活し、スタッフからは保護者と直接お話することが出来ると、自分も関わっていると実感できる。との声があった。保護者からもボランティアさんやアルバイトさんとの関りについての声が聞かれて良かった。

改善点

- ①HPをリニューアルし、今に近い子どもの表情をアップしていけるようにします。
- ②子どもの支援にばらつきが無いように、スタッフ会議やコミュニケーションのあり方を再検討します。
- ③日々の保育記録等の実務をデジタル化し簡略化に務めます。支援記録を自分のタイミングで読むことが出来ることで、子どもの日々の支援に繋がれるように活用していきます。
- ④不具合を起こしていたシャッターの修繕を行います。